

令和3年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における

北九州市立 枝光台 中学校の結果分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、令和3年6～7月に、2年生を対象として、「運動習慣等」についての調査を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

本結果は、学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。運動習慣は、学校のみでなく、家庭で運動と一緒に「する・みる・話す」ことが大切です。本校では、運動習慣の確立と授業の充実により、総合的に体力の向上を目指しています。ご家庭でも運動習慣の確立に向けた取組の充実をお願いします。

※ 本年度、本市においては「体力・運動能力」についての調査は実施していません。

1. 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の目的

- (1) 国が全国的な子供の体力の状況を把握・分析することにより、子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会が自らの子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、子供の体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各学校が各児童生徒の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康に関する指導などの改善に役立てる。

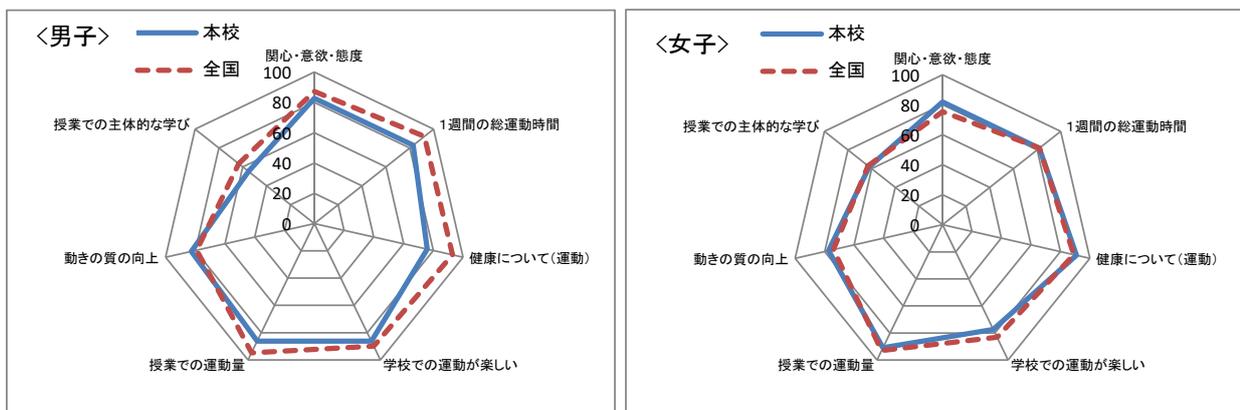
2. 本市における調査内容

- (1) 質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査

3. 運動習慣や生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

質問紙調査レーダーチャート



質問紙調査の結果分析

○「保健体育の授業が楽しいと感じている生徒」や「運動やスポーツを大切に感じている生徒」は、全国平均と比較して低い。このことから授業での学び方や運動に対する意識を変えていくためにも授業改善が必要である。

○「学校の体育の授業時間以外でも運動やスポーツを行っている生徒」は、全国平均と比較して低い。このことから、運動やスポーツの大切さを伝えることが必要である。

4. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科(授業)に関する取組(全校で・学年で)

○授業の導入時に体力向上プログラムを全校で取り組む。

○ホワイトボードや掲示板等を使って、めあての提示や学習資料掲示を工夫するとともに大型テレビやパソコン、デジタルカメラ等の視聴覚機器や学習カードを活用し授業を展開する。

② 運動習慣等に関する取組(1校1取組)

○単元別に主運動につながる補助運動などを授業で紹介、実施することにより、家庭でも取り組めるようにする。